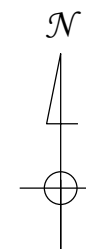
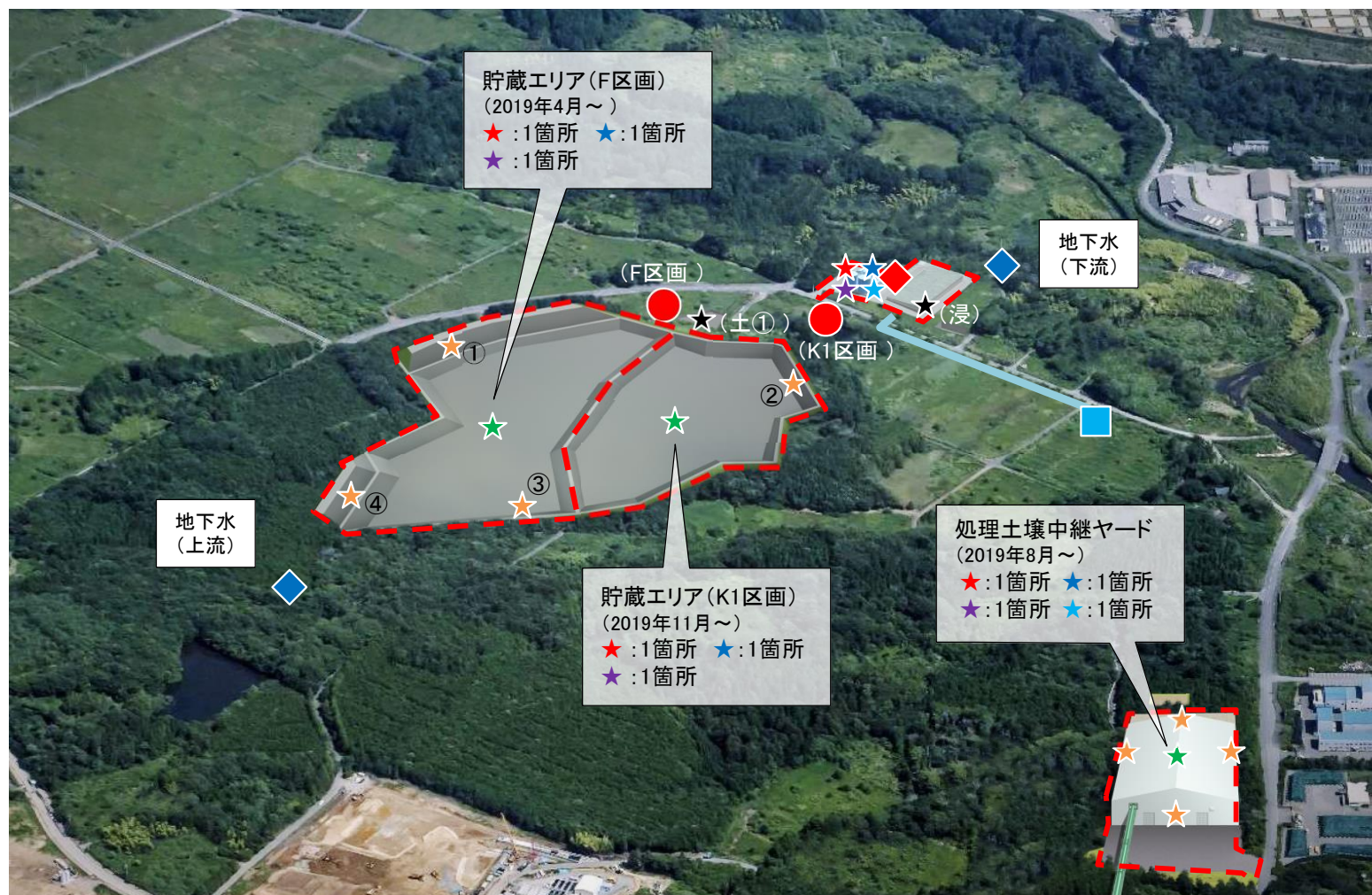


土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



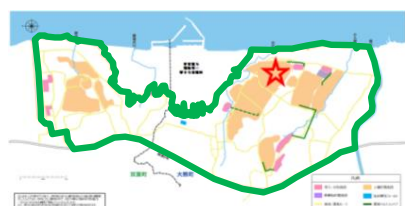
★:施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(設備)

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(重機)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線



土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18 (稼働前)	21	11
	2020/3/12 (稼働後)	8.9	11
下流	2019/4/18 (稼働前)	33	14
	2020/3/12 (稼働後)	38	28

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F区画)	2019/4/18 (稼働前)	ND
	2020/3/12 (稼働後)	ND
貯蔵エリア (K1区画)	2019/11/28 (稼働前)	ND
	2020/3/12 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/3/12	7.6	2	23	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/3/3 ～2020/3/31	108	0.0	1.0	ND	4046.7

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目 測定日	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土④)	2020/3/12	7
沈砂池(浸)	2020/3/12	2

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2020/3/12 (稼働後)	ND	1.8

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/12,13 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア (F区画)	0.2
貯蔵エリア (K1区画)	0.5
浸出水処理施設	ND
処理土壌中継ヤード	6.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/13,17 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア (F区画)	0.68
貯蔵エリア (K1区画)	1.14
浸出水処理施設	0.50
処理土壌中継ヤード	0.52

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/12,13 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア (F区画)	ND	ND
貯蔵エリア (K1区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点			2020/3/13,17,19 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界		境界①	ND
		境界②	ND
		境界③	ND
		境界④	ND
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	設備	集じん機	ND
		重機	バックホウA
貯蔵エリア (F区画)	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND
貯蔵エリア (K1区画)	重機	バックホウB-①	ND
		ローラーB	ND
		ブルドーザーB	ND

表面汚染密度検出下限値：0.38 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18 (稼働前)	21	11
	2020/2/13 (稼働後)	8.8	11
下流	2019/4/18 (稼働前)	33	14
	2020/2/13 (稼働後)	39	29

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F区画)	2019/4/18 (稼働前)	ND
	2020/2/13 (稼働後)	ND
貯蔵エリア (K1区画)	2019/11/28 (稼働前)	ND
	2020/2/13 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2020/2/13	7.8	ND	11	ND

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/2/1 ～2020/2/25	113	0.0	2.0	ND	3707.5

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定地点	測定項目 測定日	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2020/2/13	34
沈砂池(浸)	2020/2/13	5

SS基準：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2020/2/13 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/12,13 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	ND
貯蔵エリア(K1区画)	ND
浸出水処理施設	ND
処理土壌中継ヤード	1.0

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/12,21 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	0.70
貯蔵エリア(K1区画)	1.15
浸出水処理施設	0.51
処理土壌中継ヤード	0.53

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/12,13 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND	ND
貯蔵エリア(K1区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/2/12,21 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	設備	集じん機	ND
	重機	バックホウA	ND
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND
貯蔵エリア（K1区画）	重機	ローラーB	ND
		ブルドーザーB	ND

表面汚染密度検出下限値：0.52 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18 (稼働前)	21	11
	2020/1/17 (稼働後)	8.8	11
下流	2019/4/18 (稼働前)	33	14
	2020/1/17 (稼働後)	40	27

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F区画)	2019/4/18 (稼働前)	ND
	2020/1/16 (稼働後)	ND
貯蔵エリア (K1区画)	2019/11/28 (稼働前)	ND
	2020/1/16 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/17	7.8	ND	20	1

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2020/1/9 ～2020/1/31	101	0.0 3.0	ND	3626.5

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目 測定日	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池 (土①)	2020/1/17	9
沈砂池 (浸)	2020/1/17	1

SS基準：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2020/1/17 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/16,17 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア (F区画)	ND
貯蔵エリア (K1区画)	ND
浸出水処理施設	ND
処理土壌中継ヤード	2.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/16,24 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア (F区画)	1.07
貯蔵エリア (K1区画)	1.20
浸出水処理施設	0.52
処理土壌中継ヤード	0.55

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/16,17 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア (F区画)	ND	ND
貯蔵エリア (K1区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/1/16,24 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界①	ND
	境界②	ND
	境界③	ND
	境界④	ND
浸出水処理施設	設備 濁水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁 北側	ND
	東側	ND
	南側	ND
	西側	ND
	設備 集じん機	ND
貯蔵エリア (F区画)	重機 バックホウA	ND
	バックホウA-①	ND
	バックホウA-②	ND
	ローラーA	ND
貯蔵エリア (K1区画)	重機 バックホウB	ND
	バックホウB-①	ND
	バックホウB-②	ND
	ローラーB	ND
	ブルドーザーB	ND

表面汚染密度検出下限値：0.41 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18 (稼働前)	21	11
	2019/12/12 (稼働後)	8.0	10
下流	2019/4/18 (稼働前)	33	14
	2019/12/12 (稼働後)	44	28

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F区画)	2019/4/18 (稼働前)	ND
	2019/12/12 (稼働後)	ND
貯蔵エリア (K1区画)	2019/11/28 (稼働前)	ND
	2019/12/12 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/12/12	7.6	1	16	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/12/4 ～2019/12/27	52	0.0	2.0	ND	1273.9

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目 測定日	浮遊物質 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/12/12	11
沈砂池(浸)	2019/12/12	3

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2019/12/12 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/11,12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア (F区画)	0.3
貯蔵エリア (K1区画)	0.4
浸出水処理施設	0.7
処理土壌中継ヤード	2.9

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/11,20 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア (F区画)	1.06
貯蔵エリア (K1区画)	1.22
浸出水処理施設	0.53
処理土壌中継ヤード	0.57

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/11,12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア (F区画)	ND	ND
貯蔵エリア (K1区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

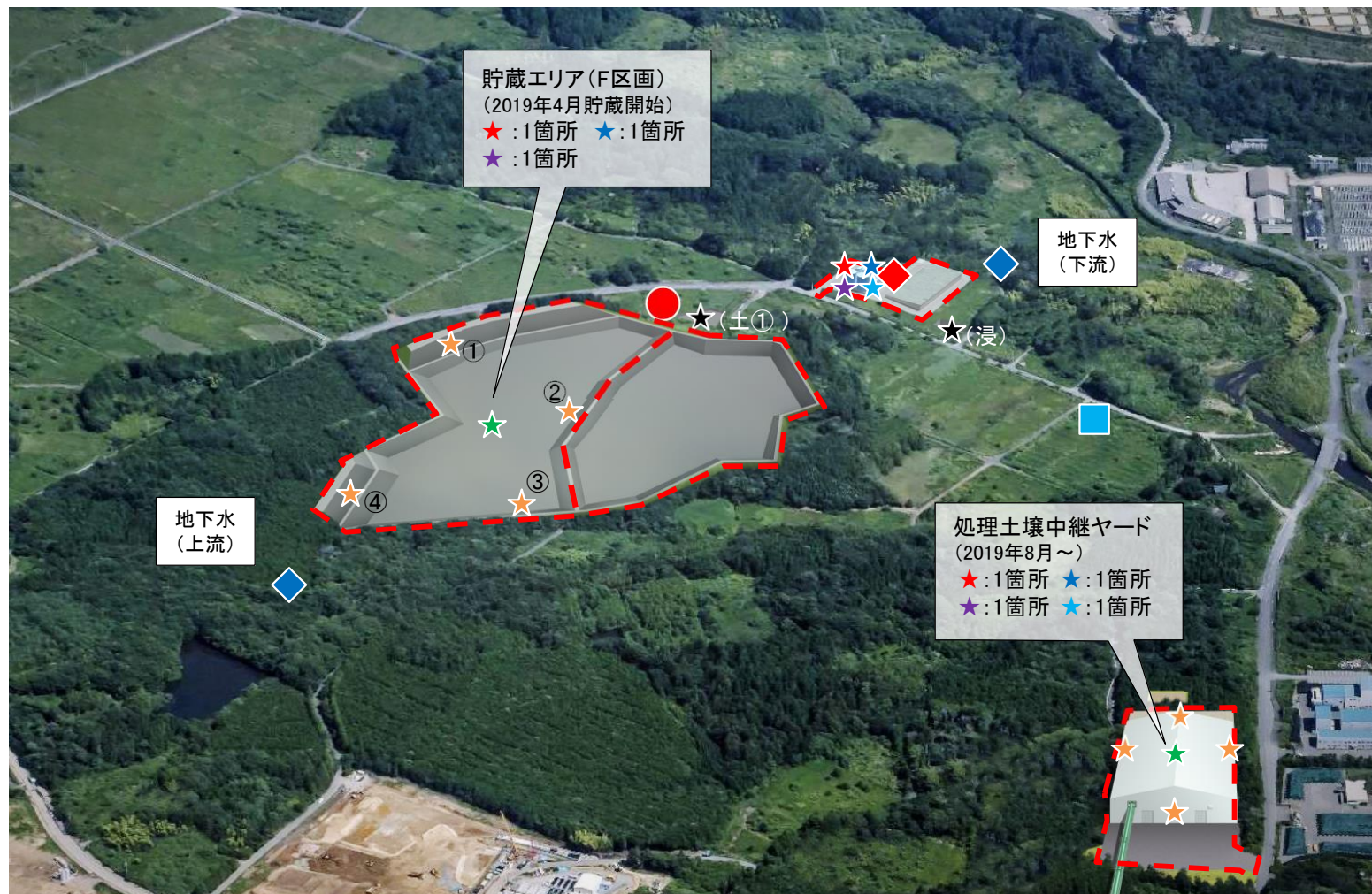
測定地点			2019/12/11,2 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界		境界①	ND
		境界②	ND
		境界③	ND
		境界④	ND
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	設備	集じん機	ND
	重機	バックホウA	ND
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND
貯蔵エリア（K1区画）	重機	バックホウB-①	ND
		バックホウB-②	ND
		ローラーB	ND
		ブルドーザーB	ND

表面汚染密度検出下限値：0.11 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)2019年4月～11月



★:施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(設備)

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(重機)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線



土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18	(稼働前)	21	11
	2019/11/14	(稼働後)	6.9	8.0
下流	2019/4/18	(稼働前)	33	14
	2019/11/14	(稼働後)	44	31

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F区画)	2019/4/18	(稼働前)	ND
	2019/11/14	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/11/14	7.9	ND	7	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/11/1 ~2019/11/28	101	0.0	1.0	ND	4260.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/11/14		17
沈砂池(浸)	2019/11/14		11

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/11/14	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/13,14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	0.1
浸出水処理施設	1.2
処理土壌中継ヤード	1.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/13,22 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	1.35
浸出水処理施設	0.52
処理土壌中継ヤード	0.61

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/13,14 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/11/13,2 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	海水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	設備	集じん機	ND
		重機	バックホウA
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.27 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18	(稼働前)	21	11
	2019/10/9	(稼働後)	9.3	9.0
下流	2019/4/18	(稼働前)	33	14
	2019/10/9	(稼働後)	38	20

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND
2019/10/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/9		7.5	1	10	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/10/2 ~2019/10/31	239	0.0 1.0	ND	8228.3

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/10/9		14
沈砂池(浸)	2019/10/9		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/10/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/9,10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	0.2
浸出水処理施設	0.6
処理土壌中継ヤード	0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/10,25 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	1.31
浸出水処理施設	0.51
処理土壌中継ヤード	0.64

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/9,10 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/10/10,25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	海水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	設備	集じん機	ND
		重機	バックホウA
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日 / 測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18 (稼働前)	21	11
	2019/9/12 (稼働後)	9.1	10
下流	2019/4/18 (稼働前)	33	14
	2019/9/12 (稼働後)	37	21

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日 / 測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)	ND
2019/9/11 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 / 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/12	7.1	ND	7	ND

pH基準：5.8～8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/9/3 ～2019/9/25	104	0.0 1.0	ND	2541

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日 / 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/9/12	10
沈砂池(浸)	2019/9/12	2

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 / 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2019/9/12 (稼働後)	ND	2.4

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	0.3
浸出水処理施設	ND
処理土壌中継ヤード	0.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/11,27 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	1.18
浸出水処理施設	0.59
処理土壌中継ヤード	0.70

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/11,12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点			2019/9/11,27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界①		ND
	境界②		ND
	境界③		ND
	境界④		ND
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
処理土壌中継ヤード	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	設備	集じん機	ND
		重機	バックホウA
	貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①
バックホウA-②			ND
ローラーA			ND
ブルドーザーA-②			ND

表面汚染密度検出下限値：0.24 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/4/18 (稼働前)	21	11
	2019/8/6 (稼働後)	8.5	11
下流	2019/4/18 (稼働前)	33	14
	2019/8/6 (稼働後)	33	22

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2019/4/18 (稼働前)	ND
2019/8/8 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/8/6	8.0	1	10	2

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/8 ～2019/8/30	45	0.0	2.0	ND	726.1

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日		
沈砂池(土①)	2019/8/6	13
沈砂池(浸)	2019/8/6	2

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2019/8/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/6,26 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	ND
浸出水処理施設	0.1
処理土壌中継ヤード	3.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/26,27 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	1.61
浸出水処理施設	0.58
処理土壌中継ヤード	0.79

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/6,26 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND
浸出水処理施設	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/8/26,27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界①	ND
	境界②	ND
	境界③	ND
	境界④	ND
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置
処理土壌中継ヤード	壁	北側
		東側
		南側
		西側
	設備	集じん機
		バックホウA
	重機	バックホウA-①
		バックホウA-②
貯蔵エリア(F区画)	重機	ローラーA
		ブルドーザーA-②

表面汚染密度検出下限値： 0.29 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18	(稼働前)	21	11
	2019/7/10	(稼働後)	8.4	11
下流	2019/4/18	(稼働前)	33	14
	2019/7/10	(稼働後)	37	26

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND
2019/7/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/7/10		7.4	ND	8	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/7/2 ~2019/7/31	198	0.0	4.0	ND	3130.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/7/10		3
沈砂池(浸)	2019/7/10		3

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/7/10	(稼働後)	ND	2.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	2019/7/10 (稼働後)	ND
浸出水処理施設		ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	2019/7/22 (稼働後)	1.30
浸出水処理施設		0.57

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	2019/7/10 (稼働後)	ND
浸出水処理施設		ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/7/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.30 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第3期大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18	(稼働前)	21	11
	2019/6/12	(稼働後)	12	11
下流	2019/4/18	(稼働前)	33	14
	2019/6/12	(稼働後)	37	20

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND
2019/6/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/6/12		7.4	<1	4	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/6/1 ~2019/6/29	45	0.0 2.0	ND	1667.1

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/6/12		13
沈砂池(浸)	2019/6/12		4

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/6/12	(稼働後)	ND	1.3

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	0.1
浸出水処理施設	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/28 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	1.30
浸出水処理施設	0.60

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/12 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND
浸出水処理施設	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/6/28 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.16 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第3期大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18	(稼働前)	21	11
	2019/5/22	(稼働後)	14	11
下流	2019/4/18	(稼働前)	33	14
	2019/5/22	(稼働後)	36	17

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND
2019/5/22	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/5/22		7.0	1	4	7

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/5/1 ～2019/5/31	49	1.0 21.0	ND	1601.2

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/5/22		2
沈砂池(浸)	2019/5/22		13

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/5/22	(稼働後)	ND	2.9

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/22 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	0.1
浸出水処理施設	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/27 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	1.40
浸出水処理施設	0.56

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/22 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	ND
浸出水処理施設	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/5/27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.22 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度： 40 Bq/cm^2

土壌貯蔵施設(第3期大熊⑤工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/4/18	(稼働前)	21	11
	2019/4/26	(稼働後)	13	11
下流	2019/4/18	(稼働前)	33	14
	2019/4/26	(稼働後)	33	12

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND
2019/4/26	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/4/27		7.8	1	4	10

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/4/26 ~2019/4/30	19	1.0	2.0	ND	691.2

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
沈砂池(土①)	2019/4/26		5
沈砂池(浸)	2019/4/26		13

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/4/26	(稼働後)	ND	4.3

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(F区画)	2019/4/26 (稼働後)	ND
浸出水処理施設		0.4

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(F区画)	2019/4/27 (稼働後)	1.09
浸出水処理施設		0.45

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(F区画)	2019/4/26 (稼働後)	ND
浸出水処理施設		ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/12/27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
貯蔵エリア（F区画）	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.10 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²